

川崎区社会福祉協議会 ホームページをリニューアルしました!!

本会のホームページが令和2年4月にリニューアルされました。

写真を増やしたホームページとなり、セキュリティにも考慮したものとなっています。スマートフォンやタブレットからも見やすくなっています。

今まで以上に、講座の案内・報告など、情報誌では伝えきれない最新の川崎区社協情報を発信していきますので、ぜひ、ご覧ください♪

URL:<https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

川崎区社協

検索

「川崎区社協」で検索!

ウェーブくんの部屋
あるからみてね♪

チャレボラ 2020

今年の夏はボランティアしよう!
チャレボラ2020の受講生を募集します!



募集期間

令和2年5月20日(水)～6月21日(日)

参加の流れ

Step1:オリエンテーション

▼
Step2:7月18日(土)or19日(日)

▼
Step3:8月21日(金)

※すべてのstepに参加すると修了書を差し上げます。

対象

川崎市内在住・在学の学生(小学生～大学生)

川崎区では、高齢者施設での認知症キッズサポート体験や障害者施設でのバランピック競技を通じたふれあいの2つを新規プログラムとして実施します!

また、地域で行われている高齢者のミニデイサービスや子ども食堂、子育てサロンでのボランティア体験、療育センターでの夏祭りのボランティア等を実施します!

※詳細は、各学校を通して5～6月頃に配布されるチラシまたは本会ホームページ等をご覧ください

ほほえみコーナー

令和元年12月1日～令和2年3月31日

寄付者名

- 大本山 川崎大師 平間寺 様
- 社会福祉法人川崎聖風福祉会・
かわさき障害者福祉施設たじま 様
- 株式会社 八洋 川崎営業所 様
- 大島 光子 様
- リバーカーレントの会 様
- JFEスチール京浜労働組合 様
- 公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会 様
- 川崎競馬秋まつり2019実行委員会 様

福祉用具
再利用

譲ります・譲って下さい

川崎区にお住いの方々を対象に、車いす、ポータブルトイレ等の福祉用具を、譲りたい方と譲って欲しい方との間で、ご紹介しています。

現在譲りたい方から、
ポータブルトイレと
浴室用椅子の登録が
あります。



お譲りいただける方は、川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741

メールアドレス：info@kawasakikushakyo.or.jp

川崎区の役立つ福祉情報を届け



第108号
令和2年5月1日

●川崎区社会福祉協議会

発行

川崎区社会福祉協議会
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビルB-1棟6階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

[発行人]
大橋 新太郎
[編集人]
編集委員会
[発行部数]
84,000部



目次

1. 市社協・区社協の合併について報告
令和2年度賛助会員募集について
- 2・3 各地区社協の事業内容
4. 令和2年度事業計画・予算
5. イベント・講習会等の報告およびお知らせ
・福祉教育情報交流会障害者支援講座
・ボランティア基礎講座・ちよこボラ講座報告
6. 令和元年度共同募金の結果について
令和元年度年末たすけあいの結果について
7. 地区社協のトピックス
・大師第3地区社協
・大島地区社協
8. 区社協ホームページのリニューアルについて
チャレボラ2020開催のお知らせ
ほほえみコーナー
譲ります・譲ってください



市社協と区社協が合併しました!!【令和2年4月1日】

川崎市社会福祉協議会と7つの区社会福祉協議会は、令和2年4月1日に合併いたしました。

川崎市社会福祉協議会は、合併により社会福祉法人川崎市社会福祉協議会川崎支部と言う位置づけとなります。通称名を今まで同様に川崎市川崎区社会福祉協議会として、これまでの事業を継続しつつ、地域共生社会の実現や地域包括ケアシステムの構築、防災と災害支援など、地域に根差した事業に取り組んでまいります。

組織運営面では、今までの理事会及び評議員会が、それぞれ常任委員会及び運営協議会と組織替えとなり、川崎区社協の事業推進を担っていくこととなります。

また、川崎区社協の会長及び副会長は、常任委員会の委員の中から選任することとなり、引き続き大橋新太郎会長、間宮鉢二副会長及び相川隆俊副会長が選任されました。

令和2年度からの川崎区社協は、新たな体制のもと、住民主体による課題解決能力を強化しつつ、さらなる地域福祉の推進に努めてまいります。



令和2年度賛助会員募集について

あなたも地域福祉を支える サポーターになりませんか?



川崎区社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めており本会の事業に賛同していただき、資金面で社協の事業を支援してくださる賛助会員を募集しています。

会員の皆様からいただく会費は、皆さんのがお住いの地域の身近な福祉活動に役立てられており、地域の助け合い活動、こどもや高齢者、障がいのある方、ボランティア活動の支援など、川崎区の福祉活動を支える貴重な財源となります。

「何か地域の役に立ちたいけれど仕事が忙しくて…」そんなあなたも賛助会員となって、川崎区の地域福祉を支えるサポーターになりませんか?

賛助会員になるには…

すでに賛助会員の方には、5月以降に地域の方が協力依頼に伺う予定です。新規入会希望の方は区社協までご連絡ください。

※会費納入以外にも、ボランティア等で地域活動を直接応援していただけます。お気軽にお問合せください。

問い合わせ

044-246-5500

賛助会費の8割を地区社協
に(2・3面を参照)2割を区
社協事業に活用させていた
だいております。



各地区社協の事業内容

中央第一地区社協

事業内容

- 地域福祉懇談会
- 芙蓉会(会食会)
- 健康講話 ●元気に歩こう会
- 敬老祝いの会
- 社会を明るくする運動
- 日帰り研修 など



会食会・芙蓉会

大師第四地区社協

事業内容

- 福祉教育への協力・支援
(東門前小学校、大師小学校)
- 健康体操講座の開催 ●ふれあい会食会の実施
- 広報誌「しあわせ」発行
- 地域のボランティアグループ、母親クラブへの支援
- いこい喫茶 ●1日こども民生委員
- 敬老行事 ●社会を明るくする運動 など



1日こども民生委員

大師第三地区社協

事業内容

- 地域福祉懇談会 ●敬老行事
- 役員研修会の実施
- ふれあい会食会の実施
- 車イス体験
- 福祉教育への協力
- 社会を明るくする運動
- 役員研修会の実施 など



殿町小学校福祉教育

中央第二地区社協

事業内容

- 認知症予防カフェ「くるみクラブ」
- こども食堂「わいわいキッチン」
- 社会を明るくする運動
- 広報誌「きずな」発行(年2回)
- バス視察研修
- 地域福祉講演会 など



わいわいキッチン

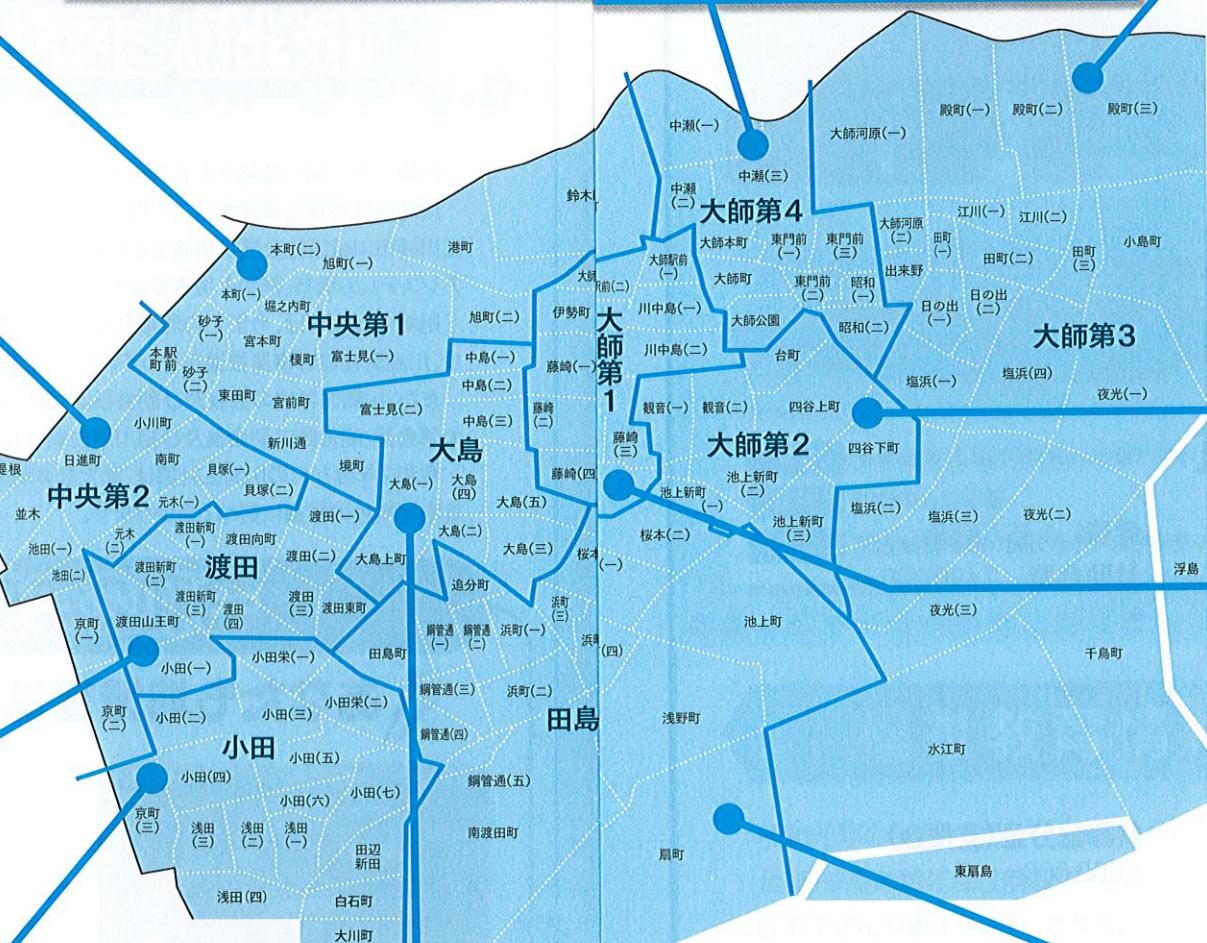
渡田地区社協

事業内容

- 広報誌発行(年2回)
- 障害者施設にてボランティア活動
- はつらつ演芸大会
- 連合若竹会の行事関連 ●ふれあい会食会の実施
- 「ほのぼの会」「子育てサロンわたりだ」「見守りネットワーク」へ協力
- 少年野球大会、羽根つき大会等の開催
- 地域福祉懇談会 ●社会を明るくする運動 など



地域福祉懇談会



大師第二地区社協

事業内容

- 地域福祉懇談会
- カローリング大会・ボッチャ体験
- 車椅子体験・ふれあい給食会
(四谷小学校)
- ふれあい会食会
- 広報誌「きずな」発行
- 社会を明るくする運動
- 役員研修会 など



カローリング大会

大師第一地区社協

事業内容

- 地域福祉懇談会 ●敬老行事
- 地域福祉講演会
- ふれあい会食会への協力
- こども食堂「にこにこだるまさん」
- 高齢者向けサロン「高齢者お茶飲みサロン」
- 広報紙、「地域だより」発行
- 社会を明るくする運動
- 日帰り視察研修会 など



おしゃべりサロン

小田地区社協

事業内容

- 地域福祉懇談会 ●敬老行事
- あいさつ運動 ●地域福祉講演会の開催
- 男性の料理教室の開催
- 広報紙 発行(年1回)
- 高齢者会食会への協力
- 福祉教育への協力
- 社会を明るくする運動
- 役員研修会の実施 など



男の料理教室

大島地区社協

事業内容

- 小地域見守り福祉協力員の委嘱及び研修
- 地域福祉講演会の開催
- 広報誌「社協おおしま」発行
- 高齢者ふれあい型会食会実施
- 地域福祉施設の見学・福祉問題の勉強会開催
- 赤い羽根共同募金街頭募金活動に協力
- 社会を明るくする運動強調月間
- 「社明大島ビッグファミリーワン」開催に協力 など



田島地区社協

事業内容

- 福祉の集い
- 地域福祉講演会
- 広報紙 発行
- カローリング大会
- ふれあい会食会
- みんなの輪運動会
- 地域福祉施設の見学会
- 社会を明るくする運動 など



ふれあい会食会

令和2年度事業計画

重点項目

1 地区社協活動の支援・援助

地区社会福祉協議会が展開する見守り活動・居場所づくり活動の支援を通じて、身近な福祉活動の推進を図っていきます。

2 福祉教育の普及と協力

学校だけではなく、企業や地域での福祉教育を実施し、ともに生きる地域づくりに取り組みます。

3 総合相談支援事業(福祉なんでも相談)

総合相談支援事業を「福祉なんでも相談」と位置づけ、あらゆる生活課題・福祉課題に向き合い、寄り添った支援に取り組みます。複合的な課題に対しては、住民や関係機関と連携・協力し、課題解決を目指します。

4 広報啓発事業

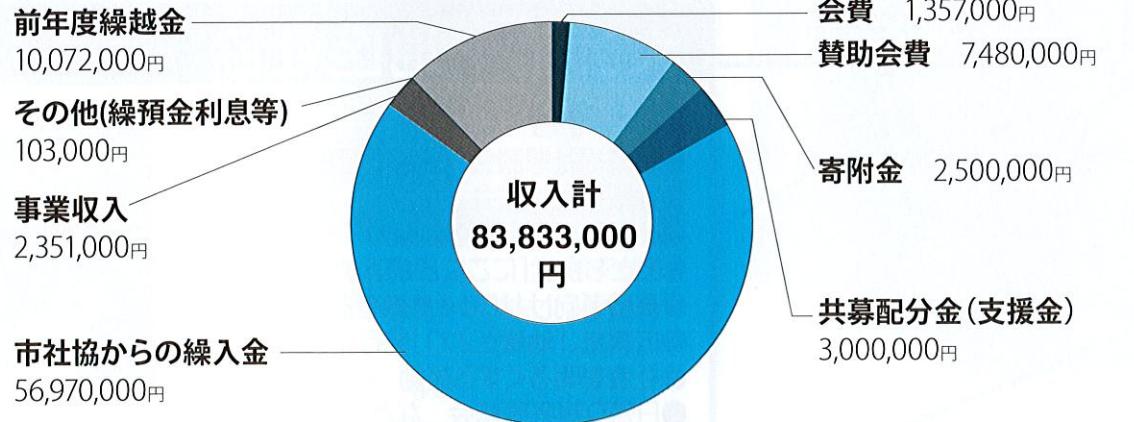
本会発行の広報紙「ウェーブ」、ボランティア情報紙「いっぽ」、ホームページのほかにもさまざまな媒体を通して、より多くの人に福祉情報を提供します。

5 災害支援の取組み

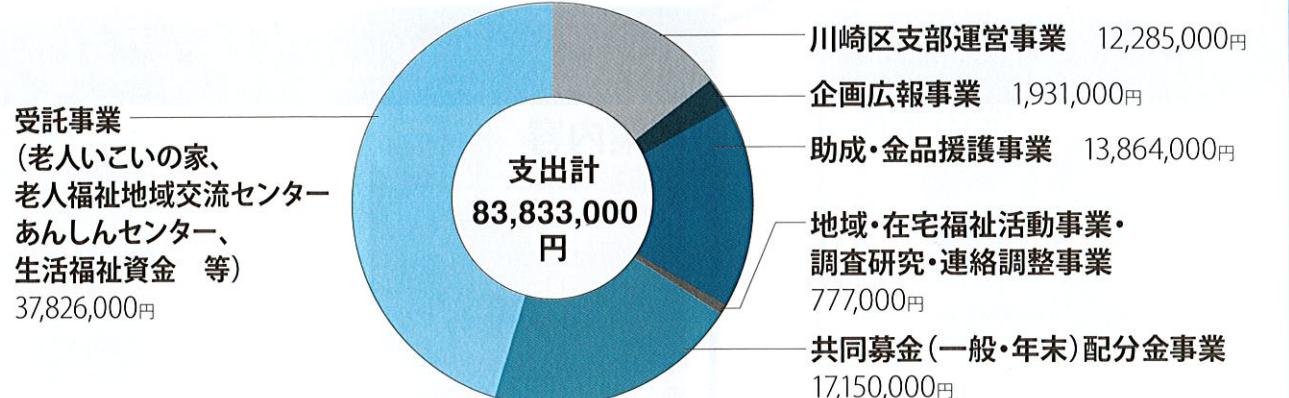
川崎区総合防災訓練において災害ボランティアセンターの啓発活動を実施します。
川崎市総合防災訓練に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営訓練を行うとともに、関係機関と連携し川崎区における運営方法の検討を行います。

令和2年度 予算

収入



支出

令和元年度
ボランティア基礎講座&ちょこボラ講座 開催しました!!

ボランティア基礎講座

日時 令和元年12月6日(金)13:30~15:30

場所 小田老人いこいの家(小田2-16-9)

内容 ボランティアって?/ボランティア活動の事例発表/川崎区社協ボランティアセンターの紹介



川崎区社協ボランティアセンターでは、年1回区内の老人いこいの家を会場に、『ボランティア基礎講座』を開催しています。11年目となる今年度は、小田いこいの家で実施しました。社会学博士である牧岡英夫先生による講義の後、「川崎市ふじみ園」職員の方に、施設概要や実際のボランティア活動について紹介いただきました。

いこいの家を利用されている方、ボランティアに興味のある方、ボランティアや町内会活動、民生委員児童委員の活動をされている方など、25名の参加があり、皆さん熱心に講師の話に耳を傾けていました。

続いて、本講座参加者の方を対象に、『ちょこボラ!講座』として、施設見学およびボランティア体験プログラムを実施しました。基礎講座で学んだ内容を楽しみながら実践し、終了後全員がふじみ園にボランティア登録されました!!

ちょこボラ!講座
の様子

日時 令和元年12月20日(金)14:00~15:00

場所 川崎市ふじみ園

内容 施設概要説明/施設見学/ボランティア体験

ボランティア体験

福祉教育情報交流会・障がい者支援講座

令和元年の台風15号及び19号は全国的に大きな被害を出し、川崎市内でも大勢の方が被害に遭われました。

台風19号の際には、川崎区でも洪水浸水被害が予想されたため、6,000人以上の方が避難所に身を寄せられました。中にはお子さんや車イスの方、ご年配の方などさまざまな方がいらっしゃいましたが、一方で、障がいを理由に避難をためらわれた方、あえて避難しなかった方がいらしたとも伺っています。

そこで、今後の災害に備え、障がいのある人もない人も同じ地域の中でお互いに支え合い暮らしていくために、災害時にできること、日頃からできる「ご近助づきあい」について、共に考え、交流できる場として、令和2年3月17日(火)に『～いざ!』という時を障がい者と共に乗り越えていくために～』をテーマとした福祉教育情報交流会・障がい者支援講座の開催を企画していました。

しかし、誠に残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月17日の開催は見合わせることとなりました。感染が収束し次第、改めて開催のご案内を致しますので、その際は是非ご参加ください。



共同募金運動にあたたかいご協力ありがとうございました！

今年度も、地域の多くの方からのご協力をいただき、10月1日より共同募金運動を実施いたしました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の社会福祉施設や地域福祉活動、さまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動等のために大切に活用させていただきます。地域の皆様のあたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

募金種類	赤い羽根募金 実績額	年末たすけあい 募金実績額
戸別募金	11,991,844 円	9,602,079 円
法人募金	1,613,000 円	1,000 円
街頭募金	1,220,920 円	58,449 円
校内募金	399,659 円	- 円
職域募金	899,053 円	300,467 円
イベント募金	20,231 円	- 円
その他の募金	127,342 円	30,009 円

●赤い羽根共同募金 16,272,049 円

●年末たすけあい募金 9,992,004 円

●赤い羽根共同募金は 地域の福祉活動に役立てられています

- ★区内の福祉施設・団体への配分
- ★地区社会福祉協議会への助成
- ★地域のボランティア活動などへの助成
- ★川崎区社会福祉協議会の行う地域福祉活動 等



チャレボラ 2019 の様子



福祉教育の様子

令和元年度年末たすけあい運動 「支援金」配分の結果について

12月に実施されている年末たすけあい募金は、集めた募金を全て川崎区内の地域福祉活動に活用しています。

令和元年度の募金の一部を活用し、福祉ニーズを持つ世帯への激励事業として、民生委員児童委員を通じて年末たすけあい運動「支援金」5,000円を474世帯に配布しました。

交付世帯の内訳は次のとおりです。

対象世帯	件数（世帯）
ひとり親世帯で児童扶養手当の給付を受けている世帯	33
身体障害者手帳1・2級の方がいる世帯	312
療育手帳Aの方がいる世帯	101
精神障害者保健福祉手帳1級の方がいる世帯	7
介護認定が要介護4・5の方がいる世帯	45
災害避難等福祉手当の給付を受けている世帯	1
公害病認定患者の方がいる世帯	3
重複（福祉ニーズが複数ある世帯）	▲28
合計	474

地区社協のトピックス

大師第3地区社会福祉協議会 『ふれあい会食会について』

大師第3地区社会福祉協議会（以下、大師第3地区社協）では、一人暮らしの高齢者などを対象にふれあい会食会を年6回開催しています。

大師第3地区社協は対象エリアが広いため、殿町2,3町目町内会館、日ノ出町内会館、田町町内会館で2回ずつ開催し、できるだけ多くの高齢者の方々が参加していただけるようにしています。

食事の前後には、大師支所の保健師や大師の里地域包括支援センターの職員によるお口の体操や健康に関するお話、日々を安心して暮らせるよう川崎臨港警察署による交通安全や詐欺に関するお話、その他レクリエーションの時間などを設けており、好評をいただいている。

食事は、町内会の婦人部長、民生委員児童委員、主任児童委員の方々が、季節感と栄養バランスを考えたメニューを、気持ちを込めて手作りで調理しており、毎回、どの会場も参加した高齢者の笑顔あふれる会食会となっています。



大島地区社会福祉協議会 『小地域見守りネットワーク活動について』

大島地区では、民生委員児童委員と民生委員児童委員一人に対して若干名づく福祉協力員、及び町内会役員等が連携して、見守りが必要な高齢者等の見守り活動を行い、小地域見守りネットワーク事業を推進してきました。

具体的な見守り方法として、普段の挨拶やご近所づきあいだけでなく、一人暮らし高齢者等を含めた高齢者世帯に対して、「郵便物や新聞等がたまっている」「昼間なのにカーテンが閉まりっぱなしになっている」「夜なのに部屋の灯りがついていない」「ごみを出している様子がない」等の状況に注意して、そうした事が見受けられたら、担当の民生委員児童委員に情報提供をするようにしています。また、児童についても「公園等でいじめのような状況が見られた」「しばしば悲鳴が聞こえる（虐待の恐れ）」等に注意して見守っています。

関りが難しい方々に対しても、様子を気にかけるなかで困り事に気づくことがあり、支援が必要な時には、関係機関につなぐことで、孤立感や不安感を解消することができるよう協力支援を行ってきました。

大島地区に住んでいる誰もが安心して暮らし続けられるよう、これからも地道な見守り活動を続けていきます。

